

維時弘化二乙巳年丁丑月

梅若誠太郎氏
寄贈
印

御本丸 於御表 御後垣海

日教御能組

初日

御當日

五月十八日

町入

公稱

三番叟
千華

流存傳
梅若六之也

餅 風流

八右邊

高

秩之也
砂 溜金五市

九市傳 与五市
法攻市 能八市

田村

金春賣

贈於市 甚之情
指之助 亦藏

芭蕉

宝生賣

新之也 三市傳
五市攻市 市傳

初日

町入

御當日

五月十八日

公神

三番叟
千華

流左邊
梅差六之虫

餅風流

八右邊

秩之虫

九右邊 子五市

高

砂溜金五市

法攻市 熊八市

金春賣

勝攻市 甚之清

田村

積之助 六藏

宝生賣

芭蕉

新之丞 三市馬 市馬

龜割賣

張

良 龜 右市

三右市 又攻市 新三市 初右市

祝言

六平古

世之進

玄清 能攻市 久三市

金札

今余

仁右邊

持山伏

傳右邊

二日目

御老中
神後人房石残

持山伏

傳志傳

二日目

御當日

御老中
御役人方石残

廿月廿一日

翁

三番叟

八右傳

重春春史

加茂 涼七郎

三右郎 又次郎
五右郎 市之傳

伝左傳

知章 宗右郎

伝左助 元次郎
五右郎

金剛多入

夕顔 新三郎

水右郎 徳八郎
清次郎 市之傳

石之助

土 蜘蛛 喜傳右郎

幸之助 徳右郎
伝右郎 市之傳

八右傳

祝言 伝五郎

涼右郎 徳作
養次郎 助右郎

養光

三右郎

伝左傳

神右郎

伝三郎

三日目

御一日方

御當日

廿月廿二日

三日目

御一門方

御當日

廿月廿三日

公爵

三番叟

仁左衛門

宝生堂主人

呉服

正之進

九年拾月十三日
清五郎 甚三郎

八左衛門

八嶋

底五郎

三年四月
伊三郎 安三郎

秩之丞

熊野

源七郎

九年三月
長七郎 熊三郎

云平吉

山被治

年五郎

久左衛門 長五郎
政次郎 市左衛門

重政市

祝言

春勢市

安三郎 傳次郎
吉三郎 久以市

弓橋

末廣三郎

権之丞

成之り

伝吉市

四日目

宮様
西山

御當日

廿月廿六日

四日同

官樣
西山

御書日

十月廿八日

翁

三番波

傳書

鶴

金剛文
鶴飛

勝
六之
出

敦盛

石之助
飛

七
海
助

杜

六平太
若

三
新
光

紅葉狩

換之
源七郎

助
清
久

祝言

六之
岩船

氣
岩
久

麻生

伝書

好

勅

海を

勅諭

己と

初日 関口文句

夫 勅 たち 殿 作り 民 能

力 も 思 ぐ 為 何 とも 如 時 子

相生の松乃る年此暮を

初より上りては海人萬

代までこの石を二目也

かきける時と也

寶生金土部

節之

代まの石まの目あ

かまの時と

寶生金五郎
節之